洋上風力発電に関する
地域研究・検討会議

令和８年度　第１回

目次

1. 令和７年度の取組に関するご報告　P. ２～
2. 令和８年度の主な取組について　P. ９～
3. 国への情報提供について　P. 11～
4. 先進地視察のご案内　P. 12～
5. ＨＰのご案内　P. 14～

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

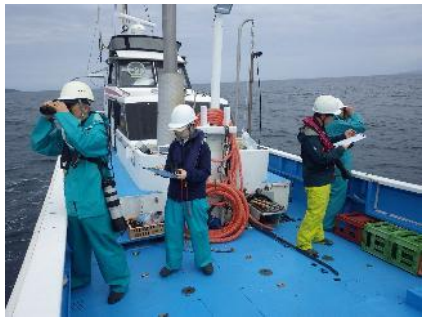
【調査目的】

〇伊豆諸島５町村の広域的な海域における生物の生息状況等を調査し、今後の環境影響評価に向け、生物基礎情報の収集・整理を行うこと

【調査対象】

〇鳥類・海棲哺乳類・コウモリ類

【調査手法】

	①定点目視観察	②船舶トランセクト調査	③旅客交通船調査	④航空機センサス調査	⑤バットディテクター調査
内容	陸上の定点から沿岸部の鳥類の目視観察を実施	エリアに設定した測線上を船舶で航行し鳥類・海棲哺乳類の目視調査を実施	航行中の旅客交通船上から鳥類・海棲哺乳類の目視調査を実施	エリアに設定した測線上を航空機で飛行し撮影を実施	録音機能付きの機器を設置し、超音波検出によりコウモリ類の生息調査を実施
イメージ					

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

【調査時期】

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

〇１年間で６回の調査を実施（加えて、 ２月に旅客交通船を用いたアホウドリ等の補足調査を実施）

〇鳥類の主な対象種と調査時期は、既存文献および有識者からの情報を基に設定しました

〇今回は**春季調査（４月）から冬季調査（2月）の結果**について報告します

		2025年									2026年
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月
主な対象種(鳥類)		オオミズナギドリ カンムリウミスズメ シギ・チドリ類、猛禽類（春季渡り） ウミツバメ類					シギ・チドリ類、猛禽類（秋季渡り） アカコッコ	カモ・カモメ類		アホウドリ類 カンムリウミスズメ	
鳥類 海棲哺乳類 （※）	①定点目視観察（四季）	4/21～25				8/19~20		10/21~24		12/2~4	
	①定点目視観察（渡り期）			6/1～6			9/22~30				
	②船舶ﾄﾗﾝｾｸﾄ	4/22,30		6/1,2		8/19,20	9/25,26	10/28	11/11	12/2,10	
	③旅客交通船	4/26~28		6/1,7,8,10		8/20,22~24,30	9/19,21,22	10/12,17~19		11/29,12/2,6~9	■ ■ ■
	④航空機ｾﾝｻｽ	4/30				8/20			11/7	12/2	
コウモリ類	⑤ﾊﾞｯﾄﾃﾞｨﾃｸﾀｰ			5/19~6/3	7/1~15	8/7~20	9/18~10/5	10/2~21		12/3~16	

※海棲哺乳類の調査は、②③④において鳥類調査と同時に実施

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

【調査結果（鳥類・陸域）】

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

○検討エリア方向を望む沿岸部の陸上定点（新島２地点、式根島１地点）において、目視調査を実施しました

○**春季調査では31種**、**春季渡り調査では20種**、**夏季調査及び秋季渡り調査では15種**、**秋季調査及び冬季調査では25種**を確認しました
いずれの調査時期においても、有識者等の情報を基に事前に設定した季節ごとの対象種が確認されました

○沿岸部の陸上定点では主に洋上から渡ってくる渡り鳥（シギ・チドリ類や猛禽類、小鳥類）やカモメ類などの沿岸性の鳥類が、
沖合ではオオミズナギドリの群れが列になって移動・採餌をする様子が確認されました

〈主な確認種〉

目　名	科　名	種　名	春季調査（４月）	春季渡り（６月）	夏季調査（８月）	秋季渡り（９月）	秋季調査（10月）	冬季調査（12月）
カモ目	カモ科	カルガモ				●		
		マガモ			●			
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	●	●	●			
ハト目	ハト科	カラスバト					●	●
チドリ目	チドリ科	ムナグロ	●					
		チュウシャクシギ	●					
		キョウジョシギ				●		
		キアシシギ			●	●		
	カモメ科	ウミネコ	●	●				●
		オオセグロカモメ				●		
	ウミスズメ科	カンムリウミスズメ	●					
ミズナギドリ目	アホウドリ科	クロアシアホウドリ	●			●		
		アホウドリ	●					
	ミズナギドリ科	オオミズナギドリ	●	●	●	●	●	
カツオドリ目	カツオドリ科	カツオドリ	●	●		●		
	ウ科	ヒメウ	●					
		ウミウ	●	●	●	●		●
ペリカン目	サギ科	クロサギ	●	●	●		●	●
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	●	●	●	●	●	●
	タカ科	ハイタカ						●
		サシバ	●	●				
		ノスリ						●
ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ						●
		ハヤブサ	●	●		●	●	
スズメ目	ヒタキ科	イソヒヨドリ	●	●	●	●	●	●

〈確認された鳥類〉

オオミズナギドリ群れ（2025/4/22）

サシバ（2025/6/2）

ミサゴ（2025/9/23）

ハイタカ（2025/12/2）

1．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

【調査結果（鳥類・海域）】

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

○旅客交通船及び航空機センサス調査より、**春季調査では９種**、**春季渡り調査では10種**、**夏季調査では6種**、**秋季渡り調査では7種**、**秋季調査では17種**、**冬季調査では16種**が検討エリア周辺海域において確認されました

○伊豆諸島では主に利島や御蔵島でオオミズナギドリが繁殖しており、繁殖期にあたる春から秋にかけて検討エリア周辺海域において多くの群れが確認されました

○有識者から「カンムリウミスズメおよびアホウドリ類は2月~3月頃にかけて最も確認される」というコメントがあったため、2月上旬にこれらの種を対象とした旅客交通船による補足調査を実施しました
→調査の結果、カンムリウミスズメやコアホウドリ、クロアシアホウドリ、アホウドリが確認されました

〈確認種一覧〉

目名	科名	種名	春季調査（４月）	春季渡り（６月）	夏季調査（８月）	秋季渡り（９月）	秋季調査（10/11月）	冬季調査（11/12月）	補足調査（2月）
ハト目	ハト科	カラスバト					●		
チドリ目	カモメ科	ズグロカモメ					●		
		ミツユビカモメ							●
		ウミネコ	●	●			●	●	●
	トウゾクカモメ科	シロハラトウゾクカモメ		●					
	ウミスズメ科	カンムリウミスズメ	●					●	●
ミズナギドリ目	アホウドリ科	コアホウドリ					●	●	●
		クロアシアホウドリ	●	●				●	●
		アホウドリ							●
	ウミツバメ科	コシジロウミツバメ				●			●
	ミズナギドリ科	ハジロミズナギドリ							●
		オオミズナギドリ	●	●	●	●	●	●	●
		ハイイロミズナギドリ		●					
		ハシボソミズナギドリ	●	●					
		アナドリ		●	●	●			
カツオドリ目	カツオドリ科	カツオドリ		●	●		●		
	ウ科	ヒメウ						●	●
		ウミウ	●		●		●	●	●
ペリカン目	サギ科	クロサギ			●				
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	●	●	●		●	●	●
	タカ科	ハイタカ						●	
		ノスリ						●	●
ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ				●	●	●	

〈確認された鳥類〉

カンムリウミスズメ（2025/4/22）

オオミズナギドリ（2025/8/20）

ウミネコ（2025/11/11）

コアホウドリ（2025/12/10）

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

【調査結果（海棲哺乳類）】

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

〇旅客交通船調査（大島から神津島の間）では、
4月から12月にかけてイルカ類（ハンドウイルカ属等）が50頭、
クジラ類（ザトウクジラ、コビレゴンドウ等）が15頭確認されました

〇新島村の検討エリア周辺海域に絞ると、
イルカ類（ハンドウイルカ属）が5頭（6月:2頭、10月:3頭）、
ザトウクジラが4頭（12月）確認されました

〇有識者から「季節回遊を行うザトウクジラが12月以降、伊豆諸島周辺海域に移動してくる」とのコメントがあったとおり、冬季の旅客交通船調査では、ザトウクジラが確認されました

〇有識者から「ザトウクジラの出現頻度は1～2月頃にかけて最も高くなる」とのコメントがあったため、2月上旬に旅客交通船による補足調査を実施しました
この結果、検討エリア周辺海域ではザトウクジラが2頭確認されました

〈確認された海棲哺乳類〉

ハンドウイルカ属（2025/8/22　旅客交通船）

ザトウクジラ（2025/12/09　旅客交通船）

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

【調査結果（コウモリ類）】

※令和７年度第4回検討会資料　再掲

〇2025年5月から12月にかけて、新島の「若郷下山公園」と「新島村役場」、式根島の「式根島支所（新島村役場）」と「大浦海水浴場」にバットディテクターを設置し、コウモリの音声を録音しました

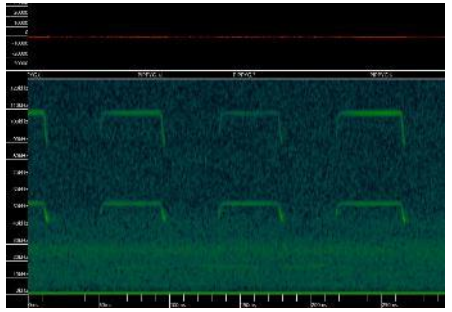
〇音声解析の結果、新島及び式根島ではで**15～30kHz及び30～55kHzのコウモリ目１及び２、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ**が確認されました

〇有識者から「伊豆諸島ではコウモリ目１としてヒナコウモリ、ヤマコウモリ、コウモリ目２としてアブラコウモリやユビナガコウモリ、その他キクガシラコウモリやコキクガシラコウモリが確認される可能性がある」とのコメントがあったとおり、新島及び式根島ではこれらの種が年間を通じて１回以上確認されました

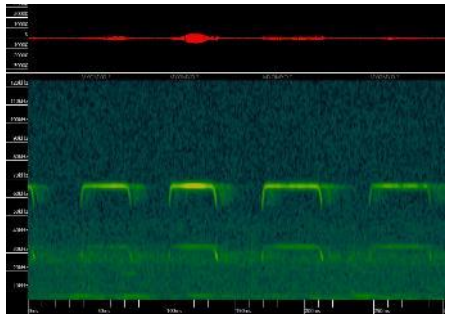
〈コウモリの音声解析結果〉

調査地点名	調査対象区分	2025/5/19 ~6/3	2025/7/1 ~7/15	2025/8/7 ~8/20	2025/9/18 ~10/5	2025/10/2 ~10/21	2025/12/3 ~12/16
若郷下山公園	コキクガシラコウモリ	●		●	●	●	
	キクガシラコウモリ	●	●	●	●	●	
	コウモリ目１（15~30kHz）			●	●	●	●
	コウモリ目２（30~55kHz）		●		●	●	●
新島村役場	コキクガシラコウモリ						
	キクガシラコウモリ						
	コウモリ目１（15~30kHz）	●	●	●	●	●	
	コウモリ目２（30~55kHz）			●	●		
式根島支所	コキクガシラコウモリ						
	キクガシラコウモリ	●		●			
	コウモリ目１（15~30kHz）	●			●		
	コウモリ目２（30~55kHz）						
大浦海水浴場	コキクガシラコウモリ					●	
	キクガシラコウモリ	●	●	●	●		
	コウモリ目１（15~30kHz）	●		●	●	●	
	コウモリ目２（30~55kHz）				●	●	

〈検出された超音波〉



コキクガシラコウモリ（2025/8/26 若郷下山公園）



キクガシラコウモリ（2025/10/2 大浦海水浴場）

１．令和７年度の取組に関する報告（生物基礎調査）

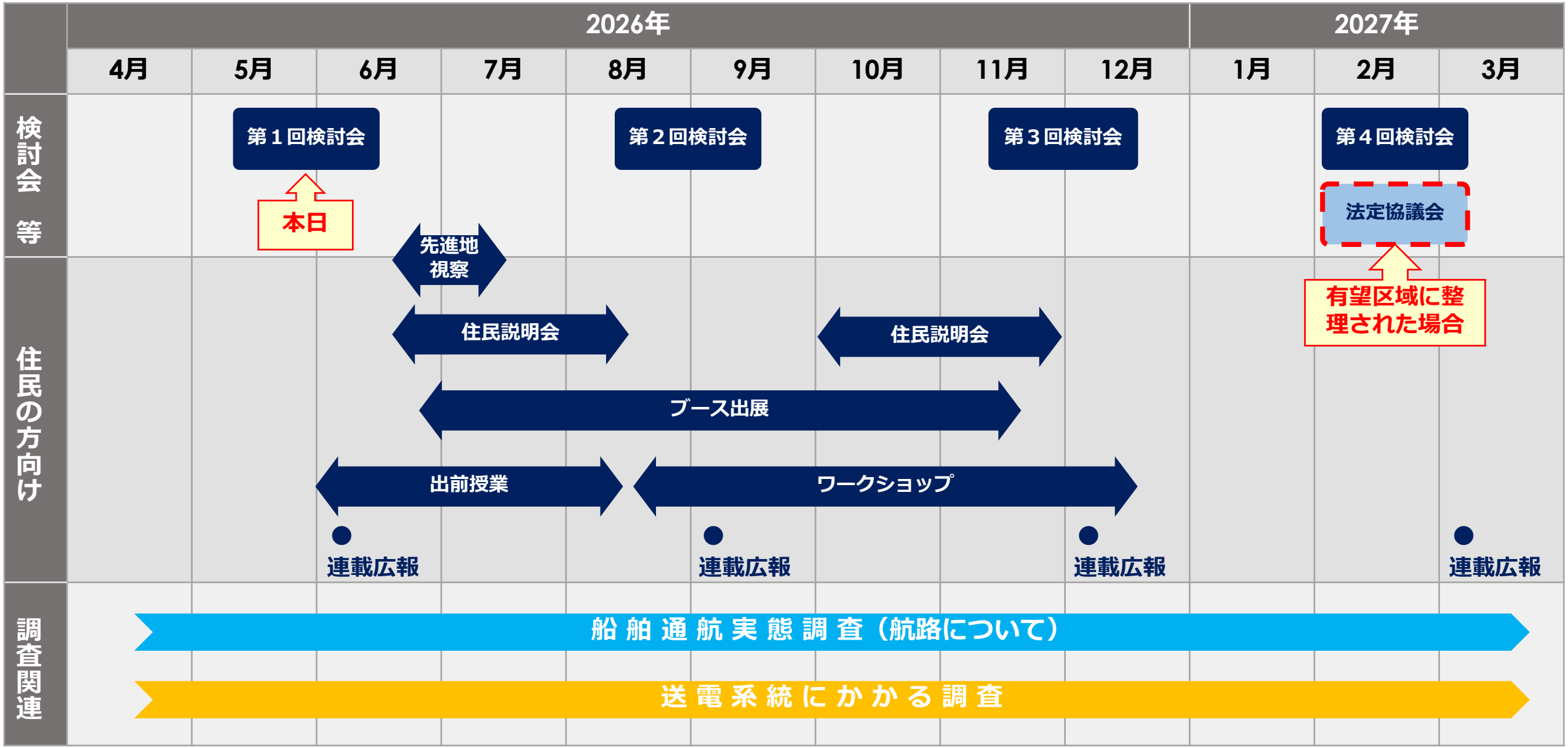
【有識者コメント】

【2026/8/12差し替え】

○４月から２月までの調査結果について有識者に確認いただき、以下のコメントをいただきました

項　目	鳥　類	海棲哺乳類	コウモリ類
有識者所属	日本野鳥の会	早稲田大学／上級研究員	新潟大学／特任助教
調査結果に対するコメント	● 限られた期間・回数の調査ではあるものの、その限りにおいては、**鳥類の季節的な出現状況を把握できており、出現種も妥当**。	● 確認された出現種について、**既存情報と比較しても妥当**。	● 確認された出現種について、**既存情報と比較しても妥当**。
環境アセスメントに向けた課題・留意点	● カンムリウミスズメは繁殖地周辺で夜間に移動することが知られており、環境アセスメントを行う際は**夜間行動についても留意する必要あり**。 ● 鳥類の飛翔高度飛行ルートは、気象条件や海象条件で変化する。洋上の調査は安全上、比較的穏やかな気象・海象条件で実施されるため、荒天時の行動データが不足する傾向あり。環境アセスメントを行う際は、**調査時の天候条件にも留意し、またできるだけ観察頻度を高める必要がある。**	● 本調査結果では伊豆諸島海域において**年間を通じてイルカ類が、冬季以降はザトウクジラが確認**されており、環境アセスメントではこれらの種を評価対象種として選定するのがよい。 ● 環境アセスメントを行う際は、音響調査等により長期的なデータを取得することで、これらの種の海域における**出現頻度や出現時期を把握することが重要**。	● 調査で確認されたコウモリ目１（ヤマコウモリ・ヒナコウモリ）は、洋上を渡って移動する事例が報告されており、移動の際に風車の回転範囲を飛翔する可能性があるため、環境アセスメントを行う際は特に留意が必要な種である。

2．令和８年度の主な取組について



２．令和８年度の主な取組について

〇令和８年度も、引き続き検討会・住民説明会を実施するとともに、下表の取組を通じて地域の理解醸成及び検討を深めていきます
ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします

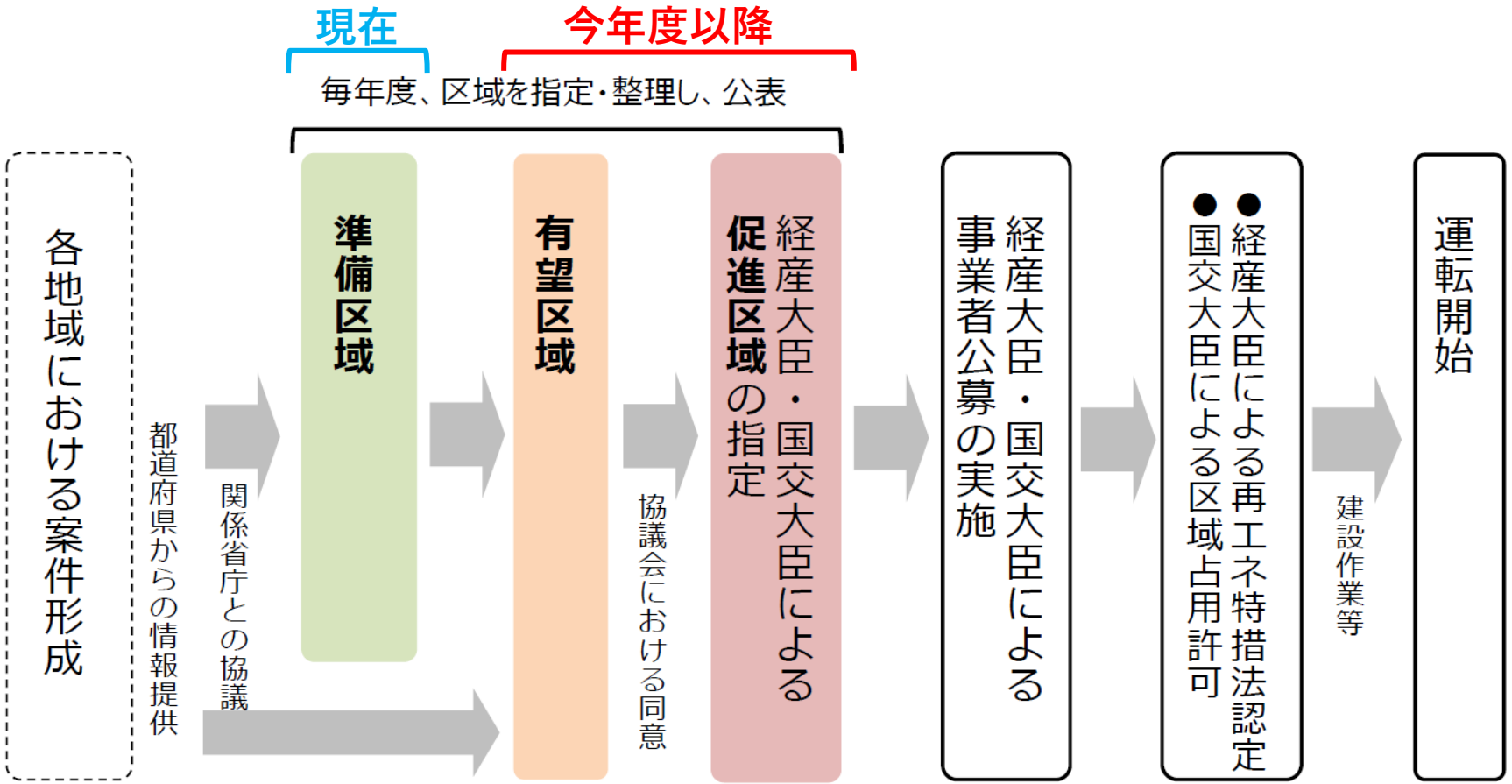
取　組	概　要	時 期（予 定）
展示ブースの設置・運営	島内の複数箇所に洋上風力等の再エネに関する展示ブースを設置し、無関心層を含む幅広い地元住民へ情報発信を実施	随時 （６日間程度/各町村）
連載広報の実施	全４回の洋上風力等の再エネに関する連載広報物を制作し、全戸配布によって地元住民への継続的な情報発信を実施	６月・9月・12月・３月
子ども向けイベントの開催	島の将来を担う子どもたちへ周知するため、環境問題や洋上風力等の再エネについての出前授業やワークショップを実施	出前授業終了後、 ワークショップを随時開催
船舶通航実態調査	伊豆諸島海域における船舶の通航状況を把握し、 風車設置後の交通流シミュレーションや課題整理を実施	通年
送電系統に係る調査	ケーブルルート案の検討、用地・地権者情報の整理等を実施	通年
先進地視察	洋上風力への理解醸成を図るため、漁業関係者・メンテナンス事業者の講話拝聴及び洋上風力の現地視察を実施	6月29日～7月2日

3．国への情報提供について

○ 国から都道府県に対して4月7日に情報提供の受付についての通知あり（６月5日〆切）

○ 区域整理の状況は、例年通りの時期であれば10月頃に公表される見込み

海洋再エネ整備法に基づく区域指定・事業者公募の流れ（領海・内水）



4．先進地視察について

【先進地視察の概要】

○ 視察先　　：長崎県五島市（福江島）
○ 視察時期　　：2026年6月29日（月）～ 7月2日（木）
○ 参加可能人数：各島４名程度
○ スケジュール：次ページ参照

【視察先の紹介】

○ <u>講演</u>
・五島ふくえ漁業協同組合の取組紹介
・風車メンテナンス会社（E-WIND）の紹介
・戸田建設による五島市沖の取組説明
○ <u>洋上風力視察</u>
・浮体式洋上風力発電施設「はえんかぜ」の海上視察
○ <u>意見交換会</u>

出典：一般社団法人五島市観光協会HP

4．先進地視察について

【行程表】

1日目（6月29日（月）：移動日）

時刻	詳細	交通手段
	移動（各島～都内ホテル）	飛行機
18:00	都内ホテル　到着	

2日目（6月30日（火））

時刻	詳細	交通手段
8:30	羽田空港　集合	
9:40	羽田空港　出発	飛行機
12:10	福岡空港　出発	飛行機
13:00	五島福江空港　到着	バス
14:30	講演	
17:45	五島市内ホテル　到着	バス

3日目（7月1日（水））

時刻	詳細	交通手段
9:30	洋上風力視察	船
13:40	五島福江空港　出発	飛行機
15:30	長崎空港　出発	飛行機
17:25	羽田空港　到着	電車
18:30	都内ホテル　到着	
18:45	意見交換会	

4日目（7月2日（木）移動日）

時刻	詳細	交通手段
	移動（都内ホテル～各島）	飛行機

5．ＨＰのご案内

○これまでにいただいた主なご質問等については、皆様が確認できるように東京都環境局HP「洋上風力発電に関するQ&A 」に掲載しており、随時更新していきます。 【2026/8/12差し替え】

東京都環境局HP（https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/renewable_energy/offshore_wind）